資料7

地域包括支援センターの職員配置について

１か月における常勤換算数の算出方法

職員の勤務延時間数を運営法人において常勤職員が勤務すべき時間数で除することにより算出

$$\frac{\text{（非常勤職員が勤務すべき時間数×4週）}}{\text{（常勤職員が勤務すべき時間数×4週）}} = \text{常勤換算数}$$

【常勤職員が勤務すべき時間数】
➡運営法人の就業規則に定める常勤の従事者が勤務すべき時間数

【非常勤職員が勤務すべき時間数】
➡休暇及び出張の時間も勤務時間数に含めることとして可

常勤換算方法の実施条件

＜条件＞

・やむを得ず欠員が生じ、常勤職員を配置することが困難であること

・非常勤職員を配置する場合、２名で常勤換算１名以上を満たすこと

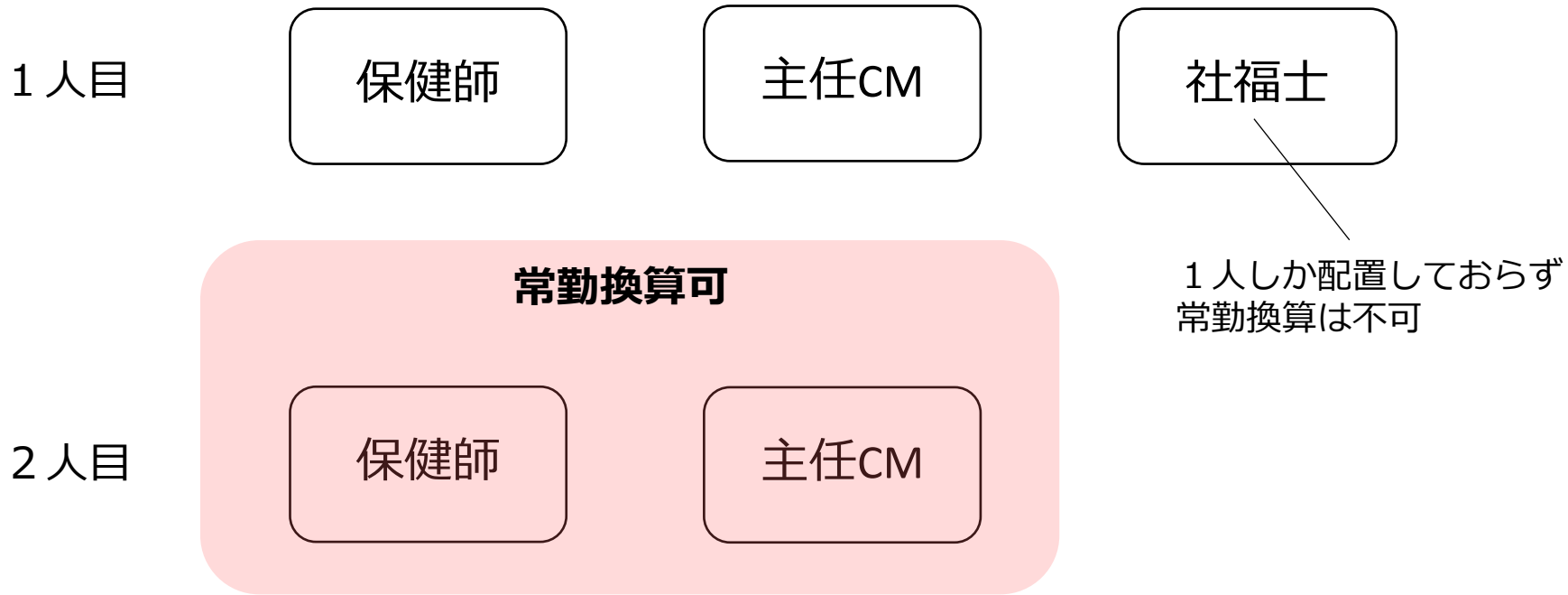
・３職種の配置定数のうち少なくとも１名は常勤職員を配置すること

・管理者は常勤職員であること

【変更前】 常勤換算が可能な範囲

<ルール>
- ３職種はいずれも１人目は常勤職員を配置する必要あり
- 同じ職種であれば２人目以降は非常勤職員による常勤換算可

（例） ３職種５人のセンターの場合



【変更後】 常勤換算が可能な範囲

<ルール>

- ３職種の配置定数のうち少なくとも１名は常勤職員を配置する必要あり
- １名しか配置のない職種であっても、やむを得ず欠員が生じ、常勤職員を配置することが困難な場合は、非常勤職員での常勤換算可

（例） ３職種５人のセンターの場合

